



「東西蝦夷山川地理取調図五」松浦武四郎著 1859年(安政6年) 釧路市中央図書館蔵

歩く白老

白老を歩いて、土地から学ぶフィールドミュージアム「歩く白老」。
歴史や地勢、動植物の生態系など風土を読み解くことで、
かつてのシラオイを想像し、この地に息づく文化を学ぶ、
体感型のプログラムです。

シラオイ
フィールド
ミュージアム

ウイマム文化芸術プロジェクト
<https://uymam.localinfo.jp>



文化庁委託事業「平成30年度戦略的芸術文化創造推進事業」

主催：文化庁 / ウイマム文化芸術実行委員会 | 企画制作：ウイマム文化芸術実行委員会
後援：北海道教育庁胆振教育局 / 白老町 / 白老町教育委員会 / 一般社団法人白老観光協会 / NPO 法人北海道遺産協議会 / 白老町商工会 / 協同組合白老商業振興会 / 虎杖浜竹浦観光連合会 / 一般社団法人白老青年会議所
室蘭民報社 / 苫小牧民報社 / 北海道新聞苫小牧支社 / 読売新聞社苫小牧支局
協力：飛生アートコミュニティー / NPO 法人 S-AIR / ホロトの森キャンプ場 / 秋の里自然公園管理運営協議会 / アトリエ イヲルマ / 木木木人 / M gene Design / ウタウカンパニー株式会社
ウイマム -uymam- とは？ アイス語で「交易(※)」を表す。特に初期ウイマム(1600年代初期)は人と人、集落と集落、アイヌと他国・地域等、相互の目的や利益を叶えるための対等な交換儀礼であり、文字を持たぬアイヌにとってモノだけでなく精神文化の面でも重要な交流であったとされる。 ※参考辞典：『アイヌ語沙流方言辞典』田村すず子(草風館) / 『アイヌ語千歳方言辞典』中川裕(草風館) / 『萱野茂のアイヌ語辞典 増強版』萱野茂(三省堂)

アイヌ語地名から探る土地の記憶

現在、白老町内の地名の多くはアイヌ語に基づいています。さらに古い記録を紐解くと、より濃やかなアイヌ語地名が豊かに用いられていたことがわかります。そんな古い地図を手に、実際に土地を歩き地形や植生等を実感することで、アイヌ語地名が息づいていた時代へのバーチャルなダイビングを試みます。いわば、地名を用いてきた人々の息吹きやその暮らしの一端に触れることを目指すフィールド・ワークです。

第1回 7月15日(日) 10時30分 **集合場所** 虎杖浜生活館駐車場 [白老町虎杖浜 65-1]

<小雨天決行> **申込締切** 7月10日(火) **フィールド散策地** アヨロ・虎杖浜周辺

第2回 8月19日(日) 10時30分 **集合場所** 飛生アートコミュニティー [白老町字竹浦 520]

<小雨天決行> **申込締切** 8月14日(火) **フィールド散策地** 飛生・竹浦周辺



講師プロフィール
谷本 晃久

北海道大学文学研究科教授。1970年、札幌生まれ。専攻は日本近世史。著書に『蝦夷島と北方世界』(共著)など。フィールドを北海道・サハリン・千島列島地域に定め、和文の古文書を素材に仕事を進めています。マユンキキさんとは、札幌円山公園の江戸時代を歩く巡見ツアーに引き続いてのコラボ、今から楽しみです。

参加料 各回 1,000円 ※当日現地にてお支払いいただきます

参加対象 高校生以上 **定員** 15名程度 **所要時間** 3時間程度
未成年は保護者同伴

持ち物 (最低限) 昼食、飲料、敷物、雨具(カッパ)、タオル類、防虫対策
*傘はご遠慮ください *その他各自必要に応じて持込み

アテンドサポート **マユンキキ** アイヌ文化アドバイザー / MAREWREW メンバー

アチャポトウラノパヨカアンロ

植生学

アチャポといっしょに野山を散策しよう

アイヌ文化において、草木は食物であると同時に家や道具の材料、毒や薬にもなり得るため、植物の知識は生きるために欠かせませんでした。このフィールド・ワークでは、自生する植物のこと、虫たちのアイヌ語名などを楽しく学びながら、野山を歩きます。お昼にはオハウキナ、ソロマなどを食材にしたオハウ(汁物)をいただきます。

第1回 7月29日(日) 10時30分 **集合場所** ポロトの森キャンプ場 [ビジターセンター前]

<小雨天決行> **申込締切** 7月24日(火) **フィールド散策地** ポロトの森・湖周辺

第2回 8月26日(日) 10時30分 **集合場所** 萩の里自然公園 [センターハウス入口駐車場]

<小雨天決行> **申込締切** 8月21日(火) **フィールド散策地** 萩の里公園周辺



講師プロフィール
作田 悟

苫小牧市在住。アイヌ文化アドバイザー。アイヌ語や木彫講座の講師、アイヌ文化の植生ガイド、カムイノミ等儀式の副祭司も務める。苫小牧アイヌ文化保存会の設立に尽力し、アイヌ文化の伝承や保存に多大な貢献をしている。当日はアチャポ(おじさん)と呼んでください。

参加料 各回 1,000円 ※当日現地にてお支払いいただきます

参加対象 小学生以上 **定員** 15名程度 **所要時間** 3時間程度
小・中学生は保護者同伴

持ち物 (最低限) おにぎり、飲料、敷物、雨具(カッパ)、長靴、タオル類、防虫対策
*傘はご遠慮ください *その他各自必要に応じて持込み

アテンドサポート **マユンキキ** アイヌ文化アドバイザー / MAREWREW メンバー

坂本 清司 白老自然体験ガイド

参加申込

参加ご希望の方は、参加希望日、お名前、〒住所、電話番号、メールアドレス、年齢をご記載の上、以下のアドレスまでお申込みください。
[メール] info.uymam@gmail.com [電話] 090-2816-4505 (平日9時~19時 担当:栗栖) *定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

かならずお読みください

※参加希望者が複数の場合でもお1人様ずつご記入ください。参加費は当日現地でのお支払いとなります。当日連絡がつく電話番号、メールアドレスを記載してください。万が一、当日荒天により中止する場合は、集合時間前にメールまたは電話にてお知らせします。 ※当プログラムにおける怪我や病気、事故、盗難等のトラブルにつきましては主催者側は一切の責任を負いません。予めご了承ください。 ※昼食の持込みについては食中毒等に充分にご注意ください。 ※天候により高温や冷え込みも予想されます。熱中症・防寒対策等の準備をお勧めします。 ※当日の記録を撮影し、当プロジェクト広報物や報告書等へ掲載いたします。予めご了承ください。